第30回 佐賀市子ども・子育て会議 要旨

日 時：令和8年3月23日（月）19：00～20：00
場 所：佐賀市役所 本庁舎4階 大会議室

1 開会

2 議事

(1)こども計画（案）について

〇会長

進め方はいつもの通り。まず事務局から説明をもらい、その後で質疑として委員の意見・質問を受ける。

●事務局

資料により説明（省略）。

〇会長

今回は最後の会議となるので、全体の感想なども込めて意見を。まず、校長先生と学生さんの意見をいただき、後に委員からの意見をいただきたい。

〇佐賀県の会議にも出ており、市とのつながりもよくわかった。佐賀市の本気度、こどもへのフィードバック、こども版など、形だけでなく取り組んでいること、多くの人の関わりなどを感じた。
県計画との整合性と本編にあるが、県はマイノリティの問題を拾いやすい会議メンバーにはなっているが、マジョリティの子も今幸せか、と考えると学校現場の実感からしてそう言い切れないところがある。学校教育が担うべき責任を感じる。
こどもパブリックコメントは、本校ではグループワークで行った。先生の説明がないと6年生でもなかなか難しかったかと思う。資料作成の時に先生の意見も入れてもらえればと思う。今回の計画案は持ち帰り、皆に見せたい。

〇会議に参加させていただき、もともとこどもの居場所に興味もあったため勉強になった。様々なところで活動している人の意見を聞き、自分の視点も広がったように思う。こどもの意見や要望が反映されているなと感じる計画。取り組んでいく大人にとってもよい指針になっていると思う。こどもが安心できるという環境に興味があるが、交通安全だけでなくネットのことも書かれていた。今のこどもには大事な要素で、それが書かれているのは今のこどもの状況に寄り添っていると感じた。

〇佐賀市の多職種の方々の素晴らしい取り組みを知ることができた。これからに生かせるお話が聞けた。自分は将来大学院を出て2年後には小学校教員として働く。先生は大変だという情報で不安にもなっていたが、この会議で、多くの人が支えてくれるのだとわかり安心もできた。より多くのこどもを支えられる教員になりたいと思った。

〇この会議での意見や、こどもたちの意見、障がいのあるこどもらの意見がこれからの社

会に生かされていくとよいと思う。

〇会長
では委員の皆さんのご意見を。

〇委員
内容については佐賀市の本気度を感じるものと思う。うちでは教育のプログラムもやっているので、その時、こども版を使えれば効果的と思う。一つ、こどもまんなかニュースのイラストが、あまりジェンダーや障がいなどに触れられてないように思った。これから修正できるかはわからないが。

＜他に意見・質問なし＞

〇会長
では、計画案については委員の承認をいただいたことにしたい。

(2)第3期佐賀市子ども・子育て支援事業計画の変更について

●事務局
資料により説明（省略）。

〇会長
質問・意見はあるか。
＜特になし＞

〇会長
では、この通りで承認とする。

(3)利用定員の設定について

●事務局
資料により説明（省略）。

〇会長
質問・意見はあるか。
＜特になし＞

〇会長
では、この通りで承認とする。

(4)就学前教育・保育施設整備交付金を活用した施設整備について

●事務局
資料により説明（省略）。

〇会長
質問・意見はあるか。
＜特になし＞

〇会長

では、この通りで承認とする。

（進行、事務局へ）

●事務局

委員各位、ありがとうございました。イラストについて少し配慮とのご意見があったので検討したい。

長年、この会議の会長を務めてくださった会長は今回の会議が最後となる。

＜会長挨拶＞

多くの皆様のご支援ご協力で会長を務めることができました。誠にありがとうございました。

3 閉会